



# 行動の分析と戦略





# 行動を分析する



なぜ、テレビのリモコンを押すのですか？



# 行動の分析の基本的考え方

- 行動を起点に、前後の3つの関係で説明する。



なぜ、リモコンのボタンを押すのですか？

# 行動分析の基本的考え方 1



「強化」  
と名づけます

## 行動の分析の基本的考え方 2

「強化」には、  
ファーストネームがある・・・

正負の計算って、覚えていますか？  
「正」は足し算、「負」は引き算。

- 行動の後の事象が、行動の主体に「足されていた」ら、それは「正の強化」。
- 行動の後の事象が、行動の主体から「引かれていた」ら、それは「負の強化」。

# 人の「行動の原理」その 3

- 「行動」が増加、維持していた場合、その行動の直後の事象は、「強化」といいます。正・負の強化には、それぞれ以下の機能があります。

【足し算】 = 【正の強化】 = 【要求行動】

1)モノや活動が得られる、2)好ましい感覚が得られる、3)人の関わりが得られる

【引き算】 = 【負の強化】 = 【逃避・回避行動】

4)嫌なモノや活動、5)嫌な感覚、6)人が、自分から遠ざけられる

の6つのいずれかであることがわかっています。

ボタンを押したのに、自動販売機からジュースが出てこなかったら・・・ボタンを押す行動は？



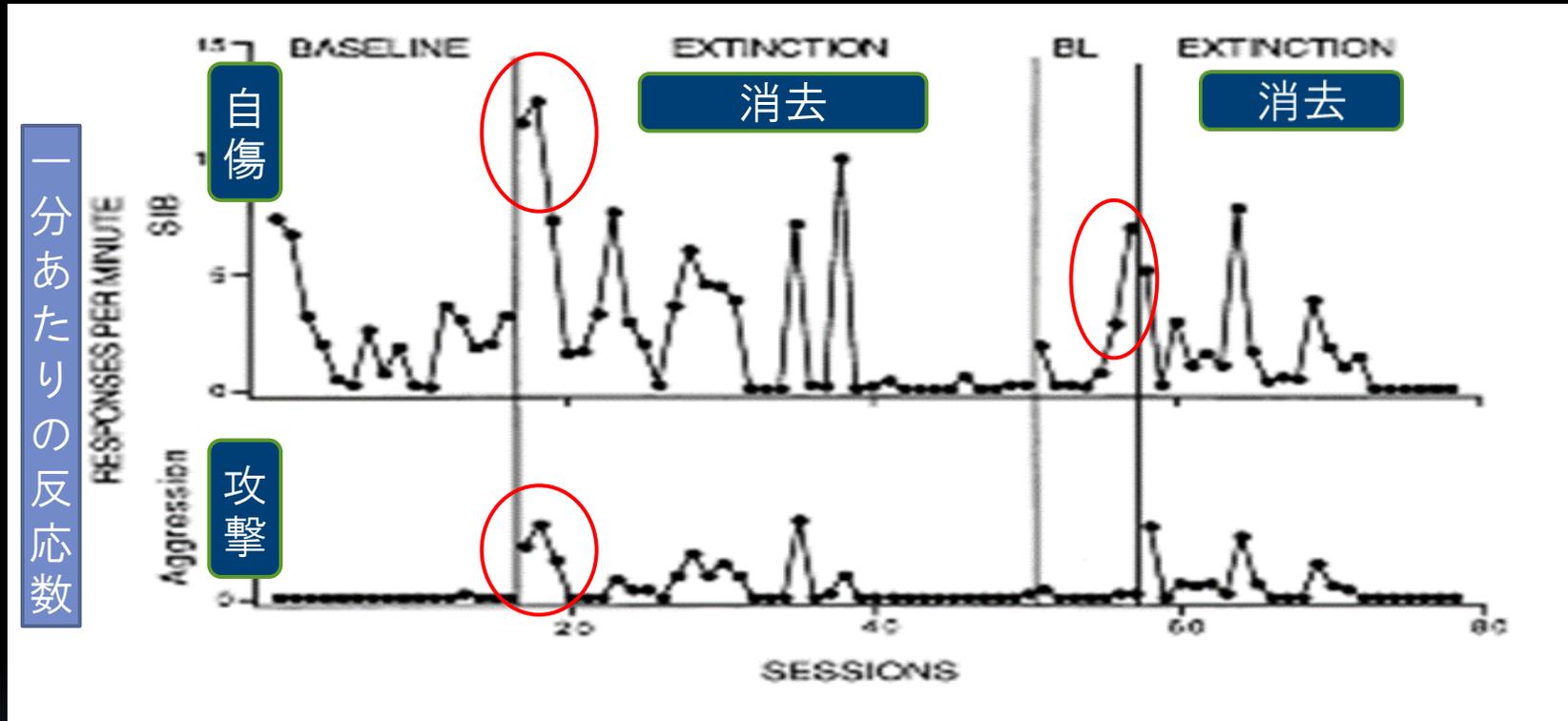
## 消去手続き (extinction) のリスク

- 消去抵抗
- 消去バースト・攻撃性の生起
- 自発的回復
- 限定的な効果
- 模倣の出現

ただし、厳密に手続きを維持すれば、消去による効果は大きい。

要は、厳密に手続きを維持することが出来るような環境設定があるかなのです。

# Goh & Iwata(1994)の「消去」の研究



対象:重度の知的障害のある40代男性。

行動:標的行動は自傷行動(激しく平面に頭を打ち付けたり、手首で頭を叩く)。ちなみに攻撃行動(周囲の人の身体を叩いたり、蹴ったりする行動)は、直接の介入対象ではない。

分析:自傷行動は、「教示からの逃避(escape from instructions.)」。すなわち、「負の強化」により維持していた。

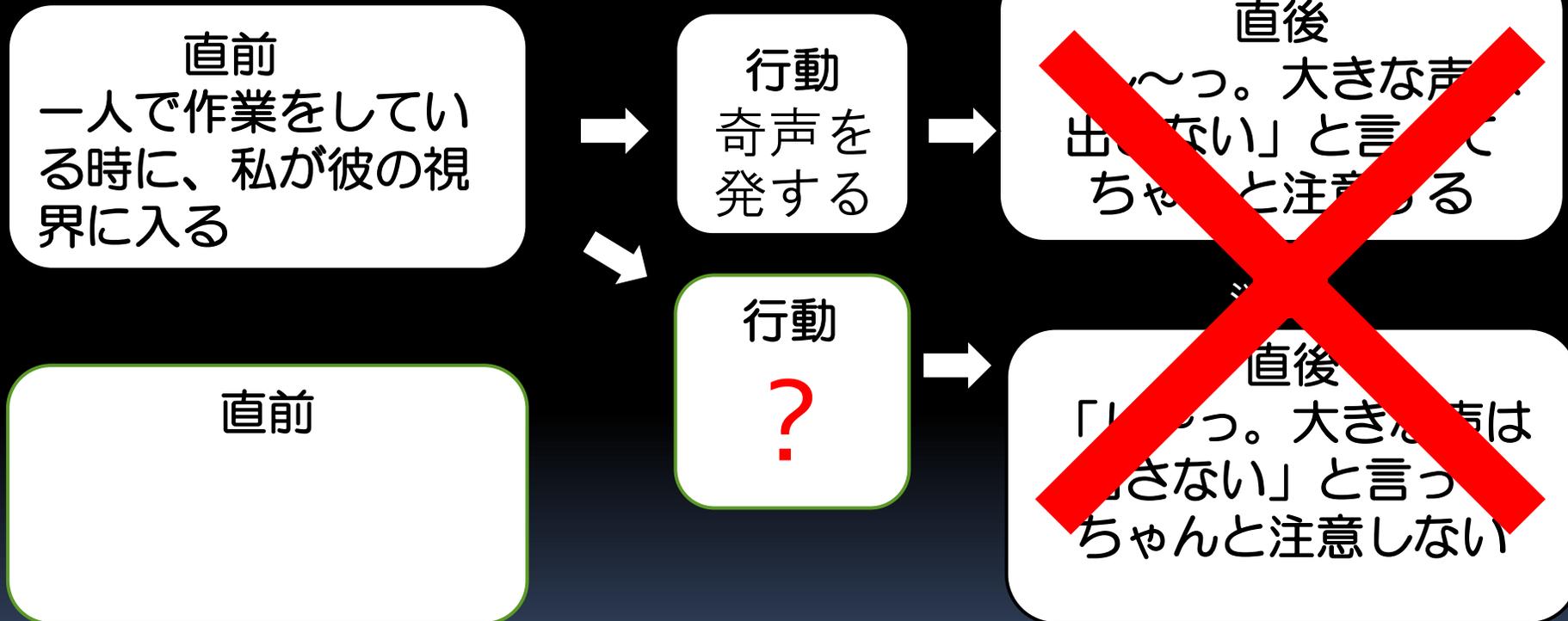
# 事例

- 私の施設に、「奇声を出す」利用者さんがいます。
- 行動を中心に、前後の様子を記録してみました。すると「奇声を出す」のは、一人で作業をしている時に、私が彼の視界に入ると高頻度で起きていました。驚いたのは私が出勤していないときは「奇声」は出さないようなのです。他の職員は彼が「奇声を出しても」放っているというのです。ひどい話です。
- なお私は「奇声」が出たときは、「し〜っ。大きな声は出さない」と言ってちゃんと注意をします。そして、しばらく作業を一緒にするように心がけています。

なぜ「奇声」を作成の上出すのでしょうか？行動を起点に、「行動」「前」「後」の関係で説明しなさい！



## とり得る戦略<sub>1</sub>

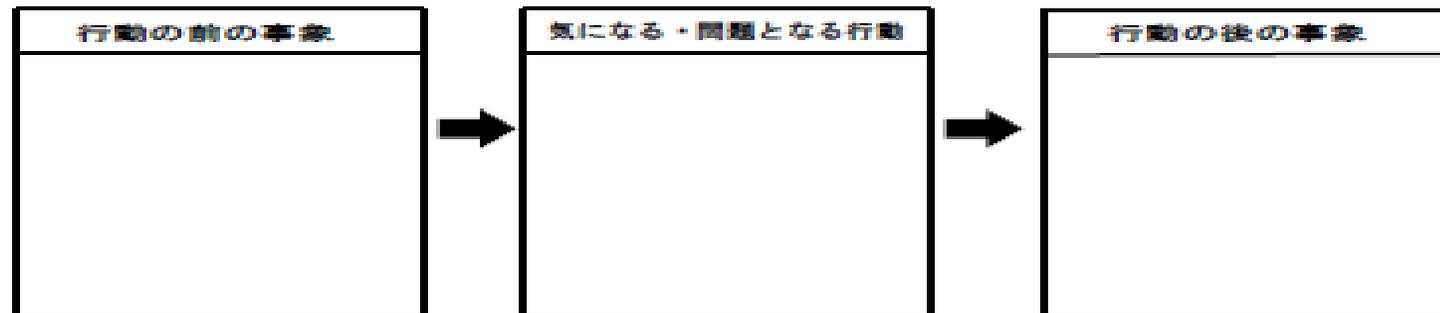
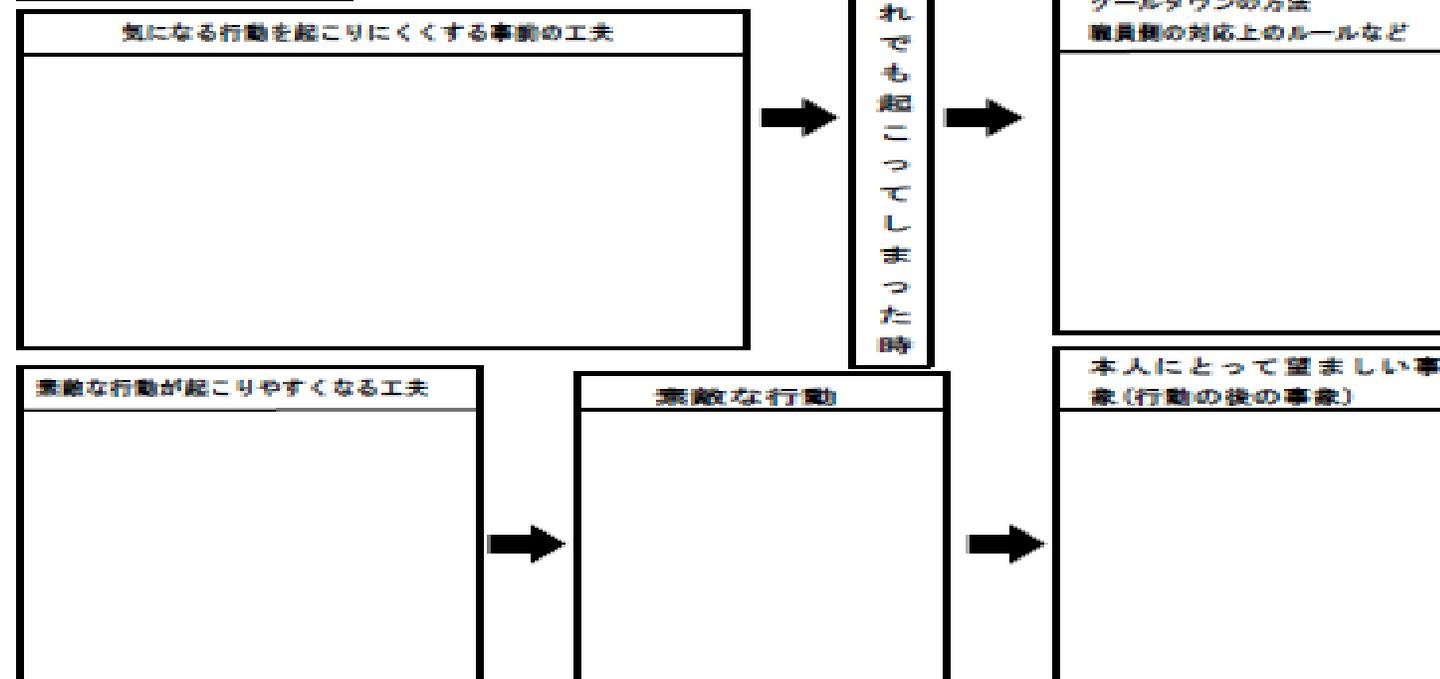


## とり得る戦略<sub>2</sub>

## 戦略シート

立案日 年 月 日

気になる行動・問題となる行動 (必ず「地獄テスト」を通過しているか確認すること)

**実際整理パート**

**対応検討パート**


# 人の「行動の原理」

- 生起している行動は、その前の事象により「誘発」され、そしてその後の事象により「強化」されています。
- 対応のツボは、行動に対して「やめなさい」と言い聞かせるのではなく、行動の「前・後の事象を変更する」ところにあります。前・後の事象が変わると、行動は自ずと変化します。
- ただし、前後の事象に対して戦略的に変更を加えないと、悪く変化します。

Practice !!

# スイッチを使って解決方法を考えてみよう



「押す」と「ピンポン」と大きな音が鳴ります。

## 先ほどの事例

- 私の施設に、「奇声を出す」利用者さんがいます。
- 行動を中心に、前後の様子を記録してみました。すると「奇声を出す」のは、一人で作業をしている時に、私が彼の視界に入ると高頻度で起きていました。驚いたのは私が出勤していないときは「奇声」は出さないようなのです。他の職員は彼が「奇声を出しても」放っているというのです。ひどい話です。
- なお私は「奇声」が出たときは、「し～っ。大きな声は出さない」と言ってちゃんと注意をします。そして、しばらく作業を一緒にするように心がけています。

### とり得る戦略 3



すぐにスイッチを押すように促す

### とり得る戦略 1

直前  
一人で作業をしている時に、私が彼の視界に入る



わたしが、「ご用は何ですか」と言って近づく

直前

### とり得る戦略 2



# なぜ、我々は赤信号で止まるのか?

我々はどのように「教わった」のだろうか . . . .



# なぜ信号が青だとススメなのか?

## Discussion!

私たちは、生まれながらにして「信号が青だとススメである」ことを知っていたわけではない。どうやって学んだのだろうか・・・。渡ろうとしたら、どうなっただろうか?思い出してみよう。

- ・ 信号が赤の場合の「横断歩道を渡る」行動を分析してみよう。
- ・ 信号が青の場合の「横断歩道を渡る」行動を分析してみよう。

# 弁別刺激と弁別

- 特定の行動を生起させやすくする先行刺激のことを弁別刺激(discriminative stimulus)という。弁別刺激が形成されることを弁別(discrimination)という。



弁別刺激



行動



横断歩道  
を渡  
れない



横断歩道  
を渡  
れた

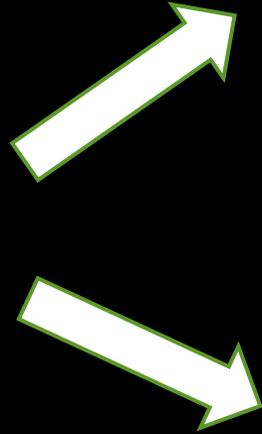
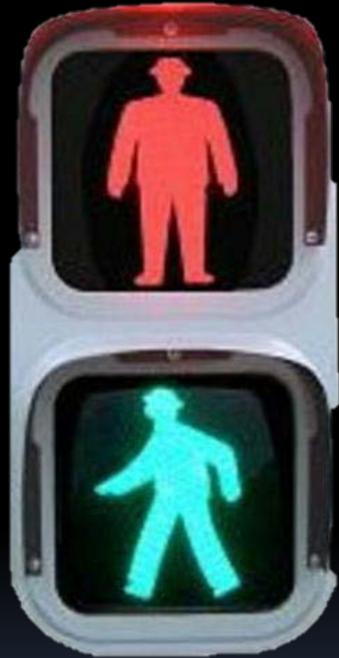
結果事象

# ちなみに・・・

- 「特定の刺激」のもとで強化された行動が、「それと似た刺激」のもとにおいても生じた場合、これを「刺激般化(stimulus generalization)」と言う。



# 般化の例として・・・



イギリスの歩行信号



アメリカの歩行信号

# 有川研究室

E-Mail : arikawa@ed.niigata-u.ac.jp

Twitter: <https://twitter.com/aripiyon>

Facebook : <https://www.facebook.com/arikawa.hiroyuki>

HP: <http://arichannel.jp/>

本日使用したパウポのPDFを、1週間  
だけホームページの「研修資料」  
[http://arichannel.jp/research-  
program/lecture-meeting/](http://arichannel.jp/research-program/lecture-meeting/)  
にアップしておきます。ダウン  
ロードは自由です。



研究室公認ゆるキャラ「あり  
犬」